

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	ドイツ語 2		
科目基礎情報							
科目番号	0189		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	秋田静男、他 共著「ドイツ語インフォメーション neu2」(朝日出版社)						
担当教員	竹添 敦子						
到達目標							
1.ドイツ語の基本的な語彙を理解し、文の発音ができる。 2.独和辞典を用いて、ドイツ語の基本的な文を読解することができる。 3.ドイツ語の基本的な「決まり文句」を覚える。							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	ドイツ語の一般的な語彙を理解し、文の発音ができる。		ドイツ語の基本的な語彙を理解し、文の発音ができる。		ドイツ語の基本的な語彙を理解できず、文の発音をすることができない。		
評価項目2	独和辞典を用いて、ドイツ語の発展的な文を読解することができる。		独和辞典を用いて、ドイツ語の基本的な文を読解することができる。		独和辞典を用いて、ドイツ語の基本的な文を読解することができない。		
評価項目3	ドイツ語の重要な「決まり文句」を覚えている。		ドイツ語の基本的な「決まり文句」を覚えている。		ドイツ語の基本的な「決まり文句」を覚えていない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	ドイツ語の基本的な語彙、文の発音を身につけ、独和辞典を用いて基本的な文を理解し、基本的な「決まり文句」について学ぶ。						
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業内容を簡潔に復習し、理解の定着ができていのかどうか確認する。 ・授業を確実に理解できるよう、単語や文などについて記憶すべき箇所を毎時間指定し、その理解度を確認する。 ・予習を課す箇所については、そこに含まれる新出の文法事項や注意すべき事項を前もって説明する。 ・予習を課した箇所については、文を板書して解説する。 						
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・予習すべき箇所を指示するので、既習の知識をもとに十分に調べてくること。 ・文字を正確に書けるよう、指示に従いよく練習すること。 ・「クラウン独和辞典 第5版」(三省堂)を毎時間持つてくること。 						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	不規則動詞の現在人称変化(1)	単数2, 3人称で語幹の母音が変わる動詞を確認できる。			
		2週	不規則動詞の現在人称変化(2)	単数2, 3人称で語幹の母音が変わる動詞を確認できる。			
		3週	人称代名詞	人称代名詞に格変化があることを確認できる。			
		4週	非人称表現	非人称の es を主語とする表現を確認できる。			
		5週	前置詞	前置詞の後ろには「決まった格」が来ることを確認する。			
		6週	3, 4格支配の前置詞	後ろに3格または4格が来る前置詞についてその使い分けを確認できる。			
		7週	中間試験				
		8週	試験返却・解答				
	4thQ	9週	話法の助動詞(1)	話法の助動詞の変化と文構造を理解できる。			
		10週	話法の助動詞(2)	話法の助動詞の変化と文構造を理解できる。			
		11週	話法の助動詞(3)	話法の助動詞の変化と文構造を理解できる。			
		12週	分離動詞	動詞本体と前綴が文中で分離する動詞を確認できる。			
		13週	命令形	人に依頼する形式を確認できる。			
		14週	時刻表現	数字を理解し、時刻の決まり文句を確認できる。			
		15週	期末試験				
		16週	試験返却・解答				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	10	10	0	100
基礎的能力	80	0	0	10	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0